

生物多様性の保全

クボタグループは、事業活動によって地域の生物多様性に重大な影響を及ぼすことのないよう、様々な活動を通じて自然環境の保護に努めています。

自然環境保護活動

ビオトープの設置・緑化活動

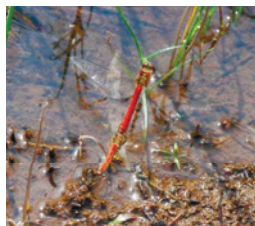
ビオトープとは生物を意味する「bio」と場所を意味する「tope」を合成したドイツ語で野生生物が生息できる空間のことです。

京葉工場船橋事業所では植樹活動やビオトープ、遊歩道の

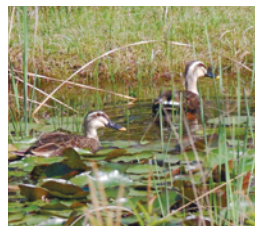
設置などを通じて、自然環境保護に努めています。ビオトープ「船橋の森」のトンボ池では、春から秋にかけてトンボが飛び交い、カルガモ夫婦の仲睦まじい姿を見かけることもあります。



京葉工場のトンボ池



近年激減したアキアカネの産卵



カルガモの夫婦

Voice.

実践

生物の多様性保全のために
地元の豊かな自然環境を守ります。



京葉工場
宮崎 俊行

私は、水道や下水道に使用されるダクタイル鉄管を製造する京葉工場で、環境保全を担当しています。また、ボランティアで絶滅に瀕するトンボの調査に協力しており、低地に生息する種や離島の固有種の危機的状況を痛感しています。最近になって、生物多様性の保全が叫ばれるようになりましたが、京葉工場では10年ほど前にビオトープを整備し、今までに19種のトンボの飛来を確認しています。生物多様性保全とは、決して各地の珍しい生物を取り寄せて保護することではなく、地元の豊かな自然環境を復元・保全することだと思っています。



東京湾では海岸の埋立などによりほとんど見られなくなったハマヒルガオ



WEBサイト掲載情報一覧

<http://www.kubota.co.jp/siryou/csr/index.html>

「クボタグループCSR報告書2009」冊子版に掲載していない補足的な情報をWEBサイトに掲載しています。

冊子掲載情報	冊子ページ	WEB掲載情報	
主要な環境指標	P40	●主要な環境指標の推移	●サイトデータ
環境マネジメント	P41～42	●環境管理推進体制 ●環境リスクマネジメント ●環境関連教育	●環境会計 ●ISO14001認証取得状況
地球温暖化の防止	P43～44	●換算係数	
環境報告に対する第三者審査	P49	●環境パフォーマンス指標算定基準	